

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-イ	水域・陸域・大気・土壌環境の保全・再生	施策	①水質汚濁対策及び地下水の保全・利用
			施策の小項目名	○各種污水处理施設の整備推進
主な取組	下水道事業		対応する成果指標	特定事業場排水基準の達成率(検査時)
施策の方向	・下水道、農業・漁業集落排水施設、合併処理浄化槽など、地域の実情に応じた各種污水处理施設の計画的かつ効率的な整備を推進するとともに、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換、浄化槽の適正な維持管理、公共下水道への接続等について、地域住民の水質保全及び浄化に関する意識の向上に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
公共用水域の水質保全を図るため、ほかの污水处理事業と連携し、地域性を考慮した効果的な下水道整備を推進する。	県,市町村	地域性を考慮した効果的な下水道整備を推進			
		下水道整備進捗率			
		85.54%	85.78%	86.02%	
担当部課【連絡先】	土木建築部下水道課		【 098-866-2248 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	中部流域下水道事業会計等			予算事業名	中部流域下水道事業会計等	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
内閣府計上	直接実施	2,601,215	8,710,271	主な財源	実施方法	当初予算額
令和6年度活動内容				内閣府計上	直接実施	8,755,937
県の処理場等において、施設の増設および、老朽化した施設の改築・更新をした。				令和7年度活動計画		
県の処理場等において、施設の増設および、老朽化した施設の改築・更新をする。				令和7年度活動計画		
予算事業名	沖縄振興公共投資交付金（下水道課市町村事業）			予算事業名	沖縄振興公共投資交付金（下水道課市町村事業）	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
一括交付金 (ハード)	その他	2,601,215	2,878,918	主な財源	実施方法	当初予算額
令和6年度活動内容				一括交付金 (ハード)	その他	3,193,021
23市町村において、地域性を考慮した污水管渠等の整備をした。				令和7年度活動計画		
23市町村において、地域性を考慮した污水管渠等の整備をする。				令和7年度活動計画		

活動指標名	下水道整備進捗率		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		85.79%	85.79%	85.86%	86.02%	99.8%	順調

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>県内の下水道整備進捗率は、目標値86.02%に対して実績値85.86%であり、取組は順調に推移している。 下水道を利用できる区域が拡充されたことで、生活環境の改善や公衆衛生の向上が図られ、公共用水域の水質保全に寄与した。 (R6年度の実績値は集計中のため、R5年度末の数値を参考に入力)</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
<p>下水道事業を実施している市町村に対して、新規整備や改築に関する今後の所要額の確認、費用対効果の高い地区の洗い出し、整備の優先度の検討状況など、ヒアリングを実施する。 下水道の整備推進による流入汚水量の増加に対応するため、処理場の処理能力を確保する。 新たな財源の検討や官民連携および汚水処理事業広域化・共同化の取組強化、関係事業の進捗確認など、県と市町村で情報共有等を行い、下水道事業の進捗を図る。</p>	<p>市町村に対して、施設整備の優先度の検討状況など、ヒアリングを実施した。 各種交付金・補助金等の活用を説明会等を行い関係市町村に対して周知した。 下水道の整備推進による流入汚水量の増加に対応するため、処理場の処理能力を確保した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	市町村の財政事情等により、下水道事業に充てられる予算や人員が限られている中、老朽化した施設の増加や自然災害への対応が増加している。また、他事業の進捗に合わせた整備を実施する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	下水道事業を実施している市町村に対して、新規整備や改築に関する今後の所要額の確認、費用対効果の高い地区の洗い出し、整備の優先度の検討状況など、ヒアリングを実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-イ	水域・陸域・大気・土壌環境の保全・再生	施策	④自然環境再生の推進
			施策の小項目名	○自然環境に配慮した海岸の整備
主な取組	自然環境に配慮した海岸の整備		対応する成果指標	自然環境に配慮した河川整備率
施策の方向	・自然環境及び生物相互のバランスに配慮しつつ、沖縄らしい砂浜の創出や海浜緑地の創出など、地域の特性に応じた海岸の整備に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
自然環境に配慮しながら、地域の特性に応じた海岸保全施設を整備する。	県	自然環境に配慮し地域の特性に応じた海岸保全施設の整備		
		整備延長(累計)		
		0.2km	0.3km(0.5km)	0.3km(0.8km)
担当部課【連絡先】	土木建築部海岸防災課	【 098-866-2410 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	海岸メンテナンス事業費			予算事業名	港湾海岸メンテナンス事業費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度			
内閣府計上	直接実施	67,754	113,189	主な財源	実施方法	当初予算額	
令和6年度活動内容				内閣府計上	直接実施	276,557	
伊佐海岸等において、護岸工（L=約0.04km）等を実施し、自然環境に配慮し地域の特性に応じた海岸保全施設の整備に取り組んだ。				令和7年度活動計画			
予算事業名	その他海岸事業（海岸事業費等）			中城湾港海岸川田地区等において、護岸工（L=約0.27km）等を実施し、自然環境に配慮し地域の特性に応じた海岸保全施設の整備に取り組む。			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	予算事業名	その他海岸事業（海岸メンテナンス事業費等）		
一括交付金 （ハード）	直接実施	269,127	316,411	R7年度			
令和6年度活動内容				主な財源	実施方法	当初予算額	
川平海岸等において、護岸工（L=約0.13km）等を実施し、自然環境に配慮し地域の特性に応じた海岸保全施設の整備に取り組んだ。				内閣府計上	直接実施	427,297	
令和7年度活動計画				令和7年度活動計画			
				兼久海岸等において、護岸工（L=約0.4km）等を実施し、自然環境に配慮し地域の特性に応じた海岸保全施設の整備に取り組む。			
活動指標名	整備延長（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	0.2km (0.2km)	0.25km (0.45km)	0.18km	0.3km (0.8km)	60.0%	やや遅れ	伊佐海岸等において、自然環境に配慮し地域の特性に応じた海岸保全施設の整備を実施した（L=約0.18km）。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和6年度は、一部の海岸事業において、入札不調が複数回発生したことから、工事を契約することができず、目標値L=0.3kmを達成することができなかった。なお、当該工事については、令和7年度の早期に契約を予定している。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
工事発注に際しては、十分な施工計画等の検討を踏まえ、発注計画を行う。	工事の発注に際しては、十分な施工計画等の検討を踏まえ、発注計画を行ったところであるが、入札不調(外的要因)により、目標値を達成することができなかった。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	建設業者の技術者不足が一つの要因となり、入札不調が生じたことから、技術者が比較的確保しやすい時期(年度当初等)に工事等を契約できるよう、発注計画を立てる必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	本取組を実施する際は、引き続き、十分な施工計画等を検討した上で、発注計画を立てる必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	建設業者の技術者不足が一つの要因となり、入札不調が生じたことから、技術者が比較的確保しやすい時期(年度当初等)に工事等を契約できるよう発注計画を立てる。
⑧ その他	本取組を実施する際は、引き続き、十分な施工計画等を検討した上で、工事等の発注を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-イ	水域・陸域・大気・土壌環境の保全・再生	施策	④自然環境再生の推進
			施策の小項目名	○自然石等を用いた河川の整備
主な取組	自然環境に配慮した河川の整備		対応する成果指標	自然環境に配慮した河川整備率
施策の方向	・自然石等を用いた河川護岸の整備や景観・環境に配慮した多自然川づくりにより、河川の水辺環境の保全・再生に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
護岸に自然石を使用する等、環境・景観に配慮した多自然川づくりにより、河川の水辺環境の保全・再生を図る。	県	自然石等を用いた河川の整備			
		整備延長(累計)			
		0.3km	0.3km(0.6km)	0.3km(0.9km)	
担当部課【連絡先】	土木建築部河川課		【 098-866-2404 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄振興公共投資交付金(河川)等			予算事業名	沖縄振興公共投資交付金(河川)等	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
一括交付金 (ハード)	直接実施	1,919,000	2,218,000	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ハード)	直接実施	3,013,000
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
自然石等を用いた河川護岸の整備や景観・環境に配慮した多自然川づくりにより、河川の水辺環境の保全・再生を図った。				自然石等を用いた河川護岸の整備や景観・環境に配慮した多自然川づくりにより、河川の水辺環境の保全・再生に取り組む。		

活動指標名	整備延長(累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	0.3km	0.3km	0.3km	0.3km (0.9km)	100.0%	順調	安里川ほか17河川にて、環境・景観に配慮した多自然川づくりにむけた用地取得および護岸工事を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

用地取得を先行して行うなどの取り組みの効果が整備の進捗率向上に寄与しており、令和6年度の整備延長実績は約0.37kmで、単年度・累計の整備延長ともに目標値と同等となったことから、取り組みは順調と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
河川事業は多大な期間を要することから、事業説明会等で事業説明および効果発現状況を説明することで、事業の効果を実感してもらい事業への協力を得ることで進捗を図る。 引き続き、関係機関(沖縄防衛局、現地米軍)および地権者との調整を密に行い、事業の進捗を図る。	道路橋の占有者である関係市町村との協議を積極的に行い、必要な予算額の把握や優先して予算を配分するなどの対応を取った。 沖縄防衛局(米軍等)に対し、現場作業に早期に着手できるよう調整を行い、事業の進捗を図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	米軍提供施設内での作業許可や用地取得の難航等により、事業進捗に遅れが生じている。	⑤ 情報発信等の強化・改善	河川事業では河川の拡幅に伴い、多くの橋梁の掛け替え等に期間を要することから、道路橋の占有者である関係市町村に事業スケジュールなど早めに協議を行い、事業の進捗を図る。
⑦ その他(改善余地の検証等)	河川整備は、軟弱地盤対策や下流側から整備するという事業の特殊性から、他事業に比べ事業効果をあげるためには多大な期間を要する。	⑦ 取組の時期・対象の改善	河川整備は、下流側から整備するという事業の特殊性から、事業効果をあげるためには計画的かつ難航事案早期解決などの用地取得を工夫する。